

## 第2回自然観察会「ツバメの調査・観察に参加しよう」 活動の記録

令和元年5月15日

- 1 日時 令和元年5月11日(土) 8時30分～11時30分
- 2 場所 小田原市役所周辺
- 3 講師 初瀬川孝夫(白鷗中学校教頭) 垂水 宏昌(三の丸小学校総括教諭)  
山室 徹(元小学校総括教諭) 長山 高子(元中学校教諭)  
米山 有美(自然観察指導員) 西垣 亮(白山中学校教諭)  
高橋 由季(自然観察指導員) 村岡 俊明(国府津中学校教諭)  
谷 圭司(元中学校総括教諭) OB ボランティア2名 ー敬称略ー
- 4 内容 市役所を起点にA B C Dの4コースに分かれて、ツバメの種類、巣の様子などの観察調査(過去数年にわたって同一場所を調査している)
- 5 日程 8:30 市役所正面玄関前集合  
8:30～8:50 あいさつ、日程、諸注意等の説明  
9:00～10:30 4コースに分かれてツバメの調査観察  
10:30～11:20 観察のまとめと発表(けやき4F第2会議室)  
11:30～ 諸連絡、解散

### 6 活動のまとめ

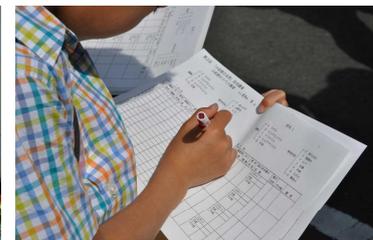
◇ 令和最初の自然観察会は天気にも恵まれ、青空の下、汗をかきながらの観察会となりました。研究所スタッフ・講師・ボランティアの皆さんを含め、総勢75名が参加し、例年通り市役所近くのA(市立病院周辺)、B(小田急線沿い)、C(メダカの学校周辺)、D(税務署周辺)の4コースで定点観測を実施しました。調査・観察は、データの蓄積と保存を行うため、歩きながら見つけた巣を記録用紙に記入していく「ライン・センサス」という方法で行いました。

◇ ツバメをはじめ野鳥の巣は外から見えないところにもあります。糞が落ちていたり、雛の死骸がある所が観察ポイントになるそうです。今回、市庁舎南側でも糞と雛の死骸を見つけました。ツバメの雛はカラスに襲われることが多く、スズメに巣を奪われてしまうこともよくあるそうです。自然界の厳しさを知ることができました。



市庁舎で発見した雛の死骸

◇ 市庁舎南側7階付近で毎年ヒメアマツバメの巣を見ることができます。ヒメアマツバメは1年中見られ、ツバメ科ではなくアマツバメ科に属するのだそうです。また、巣の



材料もツバメが土であるのにヒメアマツバメの巣を観察記録用紙の記入方法を学ぶ対して、羽毛などでできているそうです。ヒメアマツバメはほとんど飛んで生活しているので、ふわふわ浮いている羽毛などを巣の材料にするのだそうです。ここで記録用紙の記入方法を教えていただき、各コースに分かれました。

◇ 野鳥の観察は、姿形や飛び方、巣の形状・材質など、目で観察することが多いですが、耳でも観察することができます。鳴き声を聞くことで、オス・メスの区別、求愛・縄張り宣言・仲間との連絡など鳥の行動を知ることができます。今回は視覚だけでなく聴覚を研ぎ澄ませて観察に臨みました。途中、カワラヒワ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、メジロなどの鳴き声を耳にすることができました。また、よく見かけるカラスもハシボソガラスとハシブトガラスでは鳴き声が違うことを教えていただきました。



縄張り争いで鳴き合う  
イソヒヨドリ

◇ キジバトが歩道で餌を啄んでいるのをみた子どもから、「何を食べているんだろう？」という疑問が投げかけられました。調べたところ、小さな草の種や木の実、小さな虫などの餌ばかりでなく、小石を飲み込んで餌の消化に役立っているということでした。意外な事実にびっくりです。

◇ 市立病院付近でイワツバメが飛んでいるところを見つけました。元々山岳地帯に住んでいる鳥ですが、最近ビルを岩に見立てているのか、街中でも見られるようになったとのことです。



新建材の玄関で見つけた  
ツバメの巣

◇ ツバメが飛んでいる姿は見かけるのですが、なかなか巣を見つけることはできませんでした。最近ツルツルした新建材の家が増え、ツバメが巣を作りづらくなっているそうです。また、軒先ではなく、奥まったところに巣を作ることが多くなっているということです。カラスなどから攻撃されないようにするためではないかということでした。

◇ 小田急線沿いの民家のガレージで数少ないツバメの巣を観察することができました。ツバメが巣を作りやすいように家の方が板で棚を吊ってくれていました。メスが抱卵しており、均等に温められるよう卵を回転させるところを見ることができました。



抱卵中のツバメ

◇ 鳥の餌となる虫や植物も観察しました。カゲロウ、ジョウカイボウ、トビケラ、シロカネグモ、ヒシバツタなどの虫の他、食用にもなるイシクラゲ（陸棲藍藻）などを見つけることができました。また、オランダガラシ（クレソン）やナガミヒナゲシ、オオイヌノフグリ、シロツメクサなどの外来種もあちこちで見つけました。よく花冠をつくって遊ぶシロツメクサは、江戸時代にオランダから運ばれたガラス製品の包装に緩衝材として詰められていたことからこの名前が付いたそうです。



シロツメクサを観察

◇ 鳥や虫、植物だけでなく、気象についても知識を深めることができました。太陽の周りに雲が薄く白い光の輪ように見えると天気は次第に下り坂になるそうです。自然現象や動植物の様子からも天気の変化を知ることができます。天気予報が発達していなかった昔は、このような方法で天気を予測していたのですね。

◇ 最後に生涯学習センターけやき 4階の第2会議室で各コースの観察結果を報告しました。中学生の班長が代表して感想を述べ、「ツバメ以外にも色々な鳥を見ることができた。」「意外と色々な場所にツバメの巣があった。」「電線に止まって親ツバメが巣を見守っていた。」「巣跡が多くて残念だった。」など、各コースの様子を全員で共有しました。



観察結果を全員で共有

## 参加者の感想（抜粋）

### 〈小学校1年生〉

- ・たくさんの鳥がいました。知らない名前の鳥がいて、楽しかったです。大きい鳥がいてびっくりしました。
- ・新しい巣がすごかった。つばめの種類がたくさんあった。つばめがたくさん飛んでいた。
- ・いっぱいツバメの巣があったよ。今度は、ひなが飛ぶのを見たいのです。今日は、ありがとうございました。

### 〈小学校2年生〉

- ・ツバメ、ヒメアマツバメを知るのが楽しかった。
- ・ツバメの巣がいろいろわかってよかったです。楽しかったです。巣跡がいっぱいありました。飛んでいる鳥がいっぱいいました。

### 〈小学校3年生〉

- ・ツバメのメスは働き者ですが、オスのツバメは何をしているのか不思議です。昔、金魚を家の軒下で飼っていたら、カラスに食べられてしまったので、ツバメのひながカラスに食べられないか心配です。

### 〈小学校4年生〉

- ・様々なツバメの巣を見られたり、記録もできたので良かったです。これからもいろいろな観察会に出てたくさんの生き物のことをもっと知りたいです。
- ・ツバメの観察で運動にもなったし、巣がどこからどこまで成長するのか見られてよかったですと思います。
- ・ツバメの種類によって巣に使うものが違うとわかった。
- ・スズメが屋根の下の狭い隙間に入ったのでびっくりしました。鳥をだいたい8～10羽ぐらい見られて嬉しかったです。途中、イソヒヨドリがけんか（縄張り争い）していたのが見られて嬉しかったです。一つの巣では親が卵を温めていて無事に生まれてほしいなと思いました。
- ・いっぱいあると思ったけど、巣はすこしだけだと知ってびっくりしました。

### 〈小学校5年生〉

- ・メジロの声やトンビやアオサギがいました。楽しかったです。
- ・今日はツバメの特徴を調べた。ツバメはほっぺのところが赤いツバメもいる。カラスとかと違ってツバメは、揺れて飛ぶけど、カラスはあんまり揺れない。ツバメは黒か茶色です。
- ・ツバメが巣を選ぶような場所、その理由などについてよくわかったです。また、なんの鳥の巣がどうなっているのかということがわかった。
- ・今年と昨年と比べてみたら、とても数が少なく驚きました。特に巣跡が多くて、一部に集まっていました。ほかにもイシクラゲやミノムシ、タカラダニを見られたのでよかったですと思いました。これからもツバメの住みやすい場所にしていきたいです。
- ・今年はCコースをやらせてもらい12個で、去年のDコースより少なくて寂しかったです。（場所は違ったが）巣跡や古巣などが多く、巣がとても少なかったです。これからは、ツバメが居やすく住みやすく、子どもをつくりやすい環境をつくり、そして、守ることがとても大切なのだと改めて思いました。
- ・去年と比べて、そこまで変わっていなかった。去年あって、今年はない巣もあった。いろいろな鳥を見られて楽しかったです。

### 〈小学校6年生〉

- ・今日は、ツバメの巣は巣跡が多くて作りかけや古巣は少なかった。古巣の数は7つあって作りかけは3つしかなくて、ヒナは見つけられなかったけど、楽しかったです。

### 〈中学校1年生〉

- ・普段あまり注意深く見てなかったけど、こうして観察会で見られたので良かったです。ツバメの巣がある場所の特徴もよくわかりました。楽しかったです。
- ・前半は何にもなかったけれど、後半からは巣がいっぱい見つかった。抱卵中のツバメが見られてよかったです。来年もやりたいです。

〈中学校2年生〉

- ・普段あまりツバメのことなど気にしないので、ツバメについて深めることができよかったです。最近数が減ってきているということも知ったので、これから意識して見てみたいと思いました。とても興味深いものだったと思うので、来年も参加したいと思いました。
- ・去年よりも、ツバメの数が減っているような気がしました。けれど、その分ツバメ以外の鳥をたくさん見ることができました。自然観察会に参加して、小田原には多くの種類の鳥や虫、花があることを知りました。ありがとうございました。
- ・去年もこの観察会に参加しましたが、今年はやはりツバメが小田原市内にちょっとくらいいません。また、巣や巣跡があっても、その家の人に落とされていたり、スズメに乗っ取られていたりして、ツバメの巣を見かけることもできません。なので、ツバメが良い環境で住むことができるように、なるべく騒音や開発を少し減らしたほうがいいと思いました。

〈中学校3年生〉

- ・自分の中では、ヒナがもっといるかと思ったのですが、意外にも活動しているツバメがいなく、巣跡が多かったので少し残念でした。
- ・ツバメの巣が、山の奥の上のほうに行くほど少なくなっていた。ツバメの巣はあまり見ないので、久しぶりにツバメが元気である姿を見て、心が和んだ。メダカの学校やインクラゲなどの雑学も学べた。
- ・ツバメの観察会は今年が初めてで、体験する前はよくわからないことが多くありましたが、講師の方がいろいろ説明してくださるので、特に困ることはなく、楽しく観察することができました。ツバメ以外にもたくさんの野鳥を見つけることができ、とても貴重な体験をすることができたので良かったです。ありがとうございました。
- ・今日はツバメの観察だったけれど、ツバメの数は10羽もいかないくらいでツバメが思いのほかないことを改めて感じました。その他にもイソヒヨドリやカエルなどツバメ以外の生き物も見られてよかったです。
- ・去年はツバメがあまりいなくて、今年はいると思ったけど、やはりツバメは少なかったです。種類もほとんど普通のツバメが多かったので、別の種類も見なかったです。去年とは別のコースだったので、すごい形の巣とかが見られて楽しかったです。

〈保護者〉

- ・人のいない空屋にいたと思っていたのですが、人通りの多いところのほうが見つける確率が高く勉強になりました。天敵のカラスや蛇が、人の居るところにはいないというのが理由とこのことで納得です。近所にもツバメの巣があることが多いので、また帰ってきてくれるよう大事に見守っていきたいです。娘も楽しく良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・あまり気にしたことのない鳥ですが、観察するととても面白くいろいろな種類を見ることができるのだと驚きました。人がよく見える場所だけでなく、シャッターのカバーの中や屋根と壁の隙間などに発見したことが驚きでした。
- ・普段空を見上げて鳥を見ることは少なかったので、今日鳥に注目して空を見上げたら、たくさんの種類の鳥がいたので驚きました。また、植物に外来種が多かったことも印象に残っています。アオサギが一番好きです。ツバメの巣をあまり見つけることができず寂しかったです。説明がわかりやすく楽しんで時間を忘れて楽しめました。ありがとうございました。
- ・普段生活している中で飛んでいる鳥のことを気にすることはありませんでしたが、意識して周りを見ながら歩くだけで、こんなにもたくさんの鳥たちがいるということがわかり、とても驚きました。身近な鳥や植物のことを知ることができ、子供もとても興味をもって参加していたので、今回参加させてもらってとてもよかったです。これから生活していく中で、子供と一緒に自然に目を向けて過ごしていけるようにしていきたいと思います。
- ・普段何気なく歩いている道に、多くの野鳥がおり、それぞれに違い、特徴を持っていることに改めて感嘆いたしました。子供と歩いていると「鳴いているねえ」「飛んでいるねえ」で終わってしまうのも、知識があれば、さらに興味深い顔つきになることを実感です。今の時代ツバメやスズメなど共存してきた野鳥が追いやられていく中、鳥たちの更なる知恵に期待したいです。ありがとうございました。

「小田原のツバメ調査」 まとめ

種類  
 A ツバメ  
 B コシアカツバメ  
 C イワツバメ  
 D ヒメアマツバメ  
 E 不明

使用状況  
 アイウエオカキ  
 作りかけ  
 抱卵中  
 古い巣  
 不明な巣  
 不明な巣

No.	調査地点数	ツバメの種類	使用状況	巣のある壁の材質		巣の合計	その他	備考
Aコース	3	A C D	イ ウ オ キ	コンクリート	2	5		No.3新しい巣 アオサギ イワツバメ イソヒヨドリ チョウゲンボウ トビ など16種
				木造				
				その他	1			
Bコース	5	A	ア→4 イ→2 キ→1	コンクリート	3	5		新しい巣2
				木造	2			
				その他				
Cコース	8	A D	ア→1 イ→3 ウ→1 エ→2 キ→2	コンクリート	7	12		No.11で親が電線からずっと巣を見ていた。 No.13とNo.14の間に巣跡が多い。
				木造	1			
				その他				
Dコース	8	A→12 D→2	ア→2 イ→2 エ→1 キ→7 オ→1	コンクリート	11	24		スズメ ハシブトガラス シジュウカラ イソヒヨドリ ヒヨドリ ムクドリ
				木造				
				その他	3			



観察された鳥類

2019.5.11

1	コウノトリ目	サギ科	アオサギ
2	タカ目	タカ科	トビ
3		ハヤブサ科	チョウゲンボウ
4	ハト目	ハト科	キジバト
5	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ
6	スズメ目	ツバメ科	ツバメ
7			イワツバメ
8		セキレイ科	ハクセキレイ
9			セグロセキレイ
10		ヒタキ科ツグミ亜科	イソヒヨドリ
11		メジロ科	メジロ
12		アトリ科	カワラヒワ
13		ハタオリドリ科	スズメ
14		ムクドリ科	ムクドリ
15		カラス科	ハシボソガラス
16	ハシブトガラス		

以上 13科16種類